

5	2017	11	17~ 18	仕分け作業場で仕分け在庫の確認の話をしようとグラップルで鉄板を挟んだユンボに近付き、会話中に鉄板の前が滑り落ち後が太腿側面に倒れて来た。(鉄板が前から滑り落ちて、後側が左足太腿側面に触れて負傷(打撲)した。)	40	4	150102	30 ~ 49
6	2017	11	8~9	センター内調理場にて、包丁で人参の割り込み作業をしている際に、目の前を飛んでいるハエに気を取られ、誤って左手親指先端を切傷した。	27	7	30209	10 ~ 29
7	2017	10	9~ 10	掘削作業中、約90センチメートルの深さで出た石をハンドブレーカーを使用して砕いていたところ、石からブレーカーのノミが滑ってしまい、ブレーカーを握る左手環指をブレーカーと掘削断面に挟み負傷したもの。	62	7	30199	1 ~ 9
8	2017	10	14~ 15	接岸中の本船に於いてスクラップ積荷の作業中、フックスのグローブでトレーラーの荷台からスクラップを掴みホールドへ落としたところ、1個のスクラップがグローブの爪に引っかかっており、フックスが旋回して来た時に外れ、作業員の左太腿付近に当たり負傷した。	50	4	50202	10 ~ 29
9	2017	10	8~9	貸倉庫の電柱交換工事に於いて、新しい電柱(直径200m/m)を建てるためサンダーでアスファルトに溝を作っていた際に、サンダーが引っ掛かって履いていた安全靴に刃が飛び右足、小指を負傷したもの。	50	4	30202	1 ~ 9
10	2017	10	9~ 10	家屋解体現場において、重機(解体用つかみ機)にて2階の木造スノコベランダを取り外す作業中、木造スノコベランダが予想以上に腐敗しており崩れた為、重機や家屋から十分に離れて廃材処理作業していた作業員の背中に木造スノコベランダの一部が落下し受傷した。	79	4	30202	10 ~ 29
11	2017	10	16~	木造住宅解体において、機械、人力併用で木軸の解体中に、重機オペレーターがグラフアタッチメント付き0.25?バックホウにて梁材(約6m)を持ち替える為に、梁材を掴んだところ、梁材	65	4	30202	1 ~

			17	が回転し他の廃材木材とぶつかり跳ね、近くで木材片を集めていた被災者踝に当たり骨折した。				9
12	2017	10	14～ 15	アパート解体作業中、階段の鉄骨除却作業中、鉄骨のボルトを取る作業をするため移動中、重機で固定していた鉄骨が外れて、左太ももを負傷したもの。	61	6	30202	1 ～ 9
13	2017	10	8～9	解体現場にて、4tユニック車の荷台の上でバケツを交換中、鉄の棒と大ハンマーを使用し、ピンを抜く作業を3名でしていたところ、ピンが抜けたと同時にバケツのアームが動き、鉄の棒が傾斜し、持っていた本人の手に挟まり、左手の小指を骨折した。	49	7	30209	1 ～ 9
14	2017	9	14～ 15	依頼のRC造（コンクリート製）煙突解体工事において、煙突解体中コンクリート破片が右目眼球にあたり負傷した。	76	6	30201	1 ～ 9
15	2017	9	11～ 12	集合住宅解体工事現場において、重機で廃材を分別中に、被災者が突然飛び込んできたことにより、頭部を重機に挟まれ死亡したものである。	40	7	30202	1 ～ 9
16	2017	9	16～ 17	解体工事の現場内で、フレコンバッグをバックホーで掴む際、フレコンバッグのバランスが悪く、作業員が押さえ手を外したと思いフレコンバッグと手を解体フォークで掴んでしまった。	62	7	20309	1 ～ 9
17	2017	8	11～ 12	配達先で重機に給油作業中、重機から降りるとき、足を滑らせ落下した。	64	1	80204	10 ～ 29
18	2017	8	14～ 15	当社が請負う解体工事現場内において、下請負会社の従業員が、工場の撤去のための解体作業をしていた。ユンボのアタッチメント（小割機）を取り替えようとしたところ、誤ってユンボのバケットが、交換用として近くに置いておいたアタッチメント（2t、幅60cm、高さ150cm）に接触してしまい、交換用ア	50	5	30209	1 ～ 9

				タッチメントが倒れ、壁とアタッチメントに挟まれてしまった。その際に胸を打ち、小指を挟んでしまい負傷した。				
19	2017	8	10～ 11	解体工事現場にて、重機から降りる際に重機のオイルで滑って転倒し、左足根骨と左足関節を負傷した。	50	2	30209	10 ～ 29
20	2017	8	16～ 17	フェンスのコンクリート基礎解体時、側歩道から1m程離れ、ガードフェンスでL型に囲われた場所で、重機オペレーターと合図者による解体作業中、コンボのクラッシャーが合図者の右足に接触し、土間とクラッシャーの間に合図者の右足が挟まれた。またオペレーターが挟まれた状態を回避しようとブームを上げた際、クラッシャー爪部に体が引っ掛かり、合図者が転倒し、基礎コンクリートの破砕面に左頬をぶつけて裂傷を負った。	62	7	30201	10 ～ 29
21	2017	8	9～ 10	木杭（φ25×?1.6m）を平コンテナに収納する作業をしていた。サイズが大きめだったため、重機オペレーターが重機で木杭をつまむことになり、被災者は、重機オペレーターがつまみやすいように、木杭を縦向きにして立てて支えていた。重機オペレーターが木杭の上のほうを重機でつまんだ際、木杭が動き、被災者の左内股に当たり、被災者が倒れ、自分のヒジが肋骨に当たった。	55	6	30201	1 ～ 9
22	2017	8	10～ 11	ユニットバス設置工事にて、既設の浴室を取り壊す際に壁のコンクリートを研っていたとき、コンクリート欠片が右足に落下し、右足小指を負傷した。	36	4	30302	1 ～ 9
23	2017	7	11～12	家屋解体工事に於いて、被災者は斜面で重機ごと転倒し、負傷した。	66	2	30209	1 ～ 9
24	2017	6	9～	重機の手元作業中、玄関ドア上部の金具が外れ、手元をしてい	19	4	30209	1 ～

			10	た被災者の左前腕に落下し、左前腕部を負傷した。					9
25	2017	6	15～ 16	被災者が、6tトラックで廃材入りフレコンを運搬し荷卸作業中、フレコンに固定してある吊りバンド部分をバックホウのフォークで挟み易いよう持ち上げて開いたところ、バックホウのフォークに右手人差し指を挟まれて負傷した。	62	7	30209		10 ～ 29
26	2017	6	1～2	外部既設RC柱の根元部分をハンドブレイカーで解体作業中、ハンドブレイカーの先端が衝撃で横に滑り、右足に接触し負傷した。（右足甲骨折）	43	8	30309		1 ～ 9
27	2017	5	11～ 12	解体工事現場において、フェンス周りの土間コンクリートを除却するためブレイカーで掘削作業中、コンクリートの下が軟らかかった為か急に落ち込んだ際、土間に埋めていた鉄角柱にブレイカーを持っていた右手指を挟み負傷した。	45	7	30202		1 ～ 9
28	2017	5	10～ 11	工場現場内にて、コンクリート取り壊し作業中、コンクリート壁を撤去する時にコンクリートの上に乗って作業していた際、コンクリートブレイカーが滑って右足のつま先付近に接触した。	36	7	30199		1 ～ 9
29	2017	5	15～ 16	工場解体現場のスクラップ集積ヤードで、次のスクラップ積込車の連絡を受け誘導の為、ゲートまで歩いて行く時に6m離れた場所でスクラップの選り分け作業をしていた解体重機（フォーク）より長さ2m、径40mm程度の配管材（9.9kg）が被災者の左腕付近に激突した。	42	4	30209		1 ～ 9
30	2017	5	9～ 10	木造2階建て解体工事現場で、作業員が重機のアタッチメント交換時に、固定ピンの位置合わせをしていた際、無意識に置いていた左手を機械の部品に挟まれた。	21	7	30201		30 ～ 49
31	2017	5	11～ 12	発生ガラをダンプに積み込む時に、重機とガラに手を挟み負傷（左手母指）したものである。	37	7	30209		1 ～ 9

32	2017	5	16~ 17	当社工場内において破碎機の運転席から地面に降りようとキャタピラに乗った際、足が滑り勢いよく地面に足を着き転倒し、足首を捻り負傷した。	44	3	10901	10 ~ 29
33	2017	5	13~ 14	現場にて、ブロック塀をコンクリートカッターで切る作業をしていた。ブロック塀内の鉄筋を切ろうとしたところ、コンクリートカッターが跳ね返り、刃が右頬に当たり、長さ13cm程切ってしまった。	43	8	30209	1 ~ 9
34	2017	3	8~9	顧客宅の解体工事現場で、解体作業を始めたところ、作業を進めるにあたって作業現場にあったフレコンバッグが邪魔になると思い、重機のクローを使って移動させていたところ、両者の合図違いにより、相手が持っていたフレコンバッグの取手ごと右手をクローで挟んだ。	27	7	30209	1 ~ 9
35	2017	3	17~18	改修工事現場にて、バックホウにて土間コンクリートを解体中、同じ作業を繰り返し行っていたため、作業終了時に左腕の肘に違和感が生じた。	50	19	30209	10 ~ 29
36	2017	3	9~10	機械室（5m×6m）の物置改修のために、床のコンクリート基礎部分（高さ10cm、面積3㎡）解体工事において、コンクリートブレーカーのエアホースの接続部分が突然金具ごと外れ、近く（1m）で残材搬出作業中の被災者の顔部分にエアホースの先端が当たり負傷した。	62	4	30110	1 ~ 9
37	2017	3	14~15	建物解体現場にて、2階のコンクリート部分を建物から切り離す作業をしていた際、コンクリートの塊と一緒に2階部分から落下し、全身を強く打ち負傷した。	43	1	30309	1 ~ 9
38	2017	2	18~19	ニブラ場にてブロアモーターの入ったフレキシブルコンテナ袋にある程度モーターが溜まってきたので、折り曲げてある投入口を手で伸ばそうとしたところ、取っ手が底の方にずれていたため、モーターの重量で手での作業が困難と判断し、ニブラを使用して取っ手を引き上げようとした。その際、確認不足のため	21	7	150102	10 ~ 29

				め、補助作業員の右手親指を一緒に掴んでしまい災害が発生した。				
39	2017	2	11~12	家屋解体現場にて、トン袋の中に木屑を集め車に積み込む作業の中でバックフォア0.25のフォークに掛け吊す際にフォークの運転手の安全確認が、不十分によりフォークにトン袋を掛ける作業員の手まで、挟んでしまい負傷した。	64	7	30199	10 ~ 29
40	2017	2	10~11	分別場にて、バックホー運転者が廃棄物を搬入後、バックホーの運転席にて、廃棄物の分別処理作業中の被災者に、搬入した廃棄物について打ち合わせを行うために話しかけた。バックホー運転者は、安全レバーを引き、作業を中断した。打ち合わせ終了後、被災者が立ち去ったと思い作業を再開するために、安全レバーを戻し、バックホーを方向転換するために右側のキャタピラーを後進させた。その時、被災者の左足がキャタピラーの下敷きになり骨折した。安全靴を着用していた。	38	6	150102	10 ~ 29
41	2017	2	8~9	廃棄物の分別作業をしていたところ廃棄物を移動させていた油圧ショベル（ユンボ）のキャタピラー部分に接触して負傷した。	57	7	150102	1 ~ 9
42	2017	2	15~16	廃棄物の選別作業を行っている際、重機で廃棄物をつかんだ時に塩化ビニールパイプが折れて、その破片が弾け飛び被災労働者の左目下部に当たり負傷したものである。	46	4	150102	50 ~ 99
43	2017	2	15~16	会社材料置場にてコンクリート二次製品をブレイカーにて小割作業をしていてブレイカーを仮置きしようとした時、滑って左足甲に当たり負傷した。	64	4	30209	—
44	2017	2	9~10	工場現場において重機アタッチメント交換をする際、鉄筋棒を穴に差そうとしたが入りにくかったので、オペレーターが、アタッチメント部分を少し動かした時アゴに鉄筋棒が当たってしまいアゴを負傷した。	47	6	30202	—
				共同住宅新築工事において杭頭処理中天端に乗ってブレイカー				1

45	2017	2	10~11	使用中ノミ先が滑りブレーカーと鉄筋の先端に左手薬指を挟み負傷した。	43	7	30201	~ 9
46	2017	2	14~15	木造建物（住宅及び蔵）を解体工事中に被災者が木片を拾っている際に重機オペレーターが排水枡をアイアンフォーク付バックホーにて撤去する際に被災者が急に排水枡近くの木の破片を拾おうとした時にアイアンフォークに挟まれ右手人差し指を負傷（切断）したものである。	21	7	30202	—
47	2017	1	10~11	作業現場で重機のアタッチメント（フォーククロー）の取り外しをしていたところ、本来抜くべきピンではないピンを抜いたとき、フォーククローが閉じてきて手をはさまれた。	32	7	11209	—
48	2017	1	2~3	会社倉庫内にてレンタル工具の整理を行う為、重さ約30kgのブレーカーのノミを交換する作業を行っていたが、誤って手元が滑ってしまい、ノミが付いた状態のブレーカーが右足の上に落下し、右足の甲を負傷した。	30	4	30199	—
49	2017	1	15~16	産業廃棄物中間処理場内で、フレコン袋（1?袋）のヒモ部分を手で持ち、0.4バックホーのグラップルに挟ませようとして右手小指側の側面が挟まれ骨折した。	28	7	40301	50 ~ 99
50	2016	12	10~11	解体現場で、ユンボのアタッチメントの取り付け作業を行っていた時に、Hリンクを押さえた時に、手が滑ってアタッチメントとHリンクの間に入り、右手を負傷した。	49	8	11702	1 ~ 9
51	2016	12	12~13	廃棄物の中間処理場で、重機を使って木製のパレットを破碎していたところ、うっかりしていて作業員が近付いてしまい、木片が口に当たり負傷した。	44	4	150102	10 ~ 29
52	2016	12	8~9	重機にてフレコンバッグの中身をコンテナにあける作業をしていた。吊りチェーンをフレコンバック裏側のひもに掛けて吊り上げたところ、重機がバランスを崩し、搬出車両に接触しかけた為、旋回をしてよけたところ、重機先端が被災者に接触し	62	6	30209	1 ~ 9

				た。				
53	2016	12	11～ 12	解体工事現場において、3階の細部を解体する為に小型ユンボを3階へ吊り上げて、3階で解体作業を行う際に、誤操作により小型ユンボごと1階へ落下した。	29	1	30209	1 ～ 9
54	2016	12	11～ 12	解体工事中、重機のバケットからハサミへ交換中、あやまってハサミに手を入れてしまった。	69	7	30199	10 ～ 29
55	2016	11	15～ 16	新しい事業場にて、新施設を整えるための溶接作業を行っていたところ、踏み台にしていたユンボを上昇してもらった際に、予測より上昇しすぎ、天井とユンボの間に体が挟まり、負傷。	34	7	80109	1 ～ 9
56	2016	11	14～ 15	解体機械0.7バックホウのアタッチメントの交換をオペレーターと作業員3名で行っていた。アタッチメントAを取り外した後、被災者は取り外し後のピンロックボルトの仕舞いを行っていた。その際にオペレーターはバックホウの運転席に乗車し、エンジンをかけた。この時オペレーターのズボンの左ポケットにあった携帯充電器のコード線が左旋回レバーに引っ掛かっているのに気付かず、ハンドブレーキレバーを解除した為、ブームが急に旋回し、被災者に激突した。	63	6	170101	1 ～ 9
57	2016	11	15～ 16	解体工事現場にてばらしたゴミを重機で拾っていた。作業中、重機に当たった木くずが跳ねて勢いよく飛んできた。その先に被災者がいたため顔面に直撃し負傷した。	51	4	30209	1 ～ 9
58	2016	11	11～ 12	解体作業工事現場で、廃材の集積作業を行っていた際に、元請け会社がオペレーションするパワーショベルで廃材をコンテナボックスに移そうとしてはみ出し、これを見た被災者がコンテナ内に押し込もうとして廃材に手をかけたところ、解体後の足場の良くない位置にあったパワーショベルがバランスを崩して揺れてしまい、被災者の右腕がパワーショベルのアタッチメントとコンテナボックスに挟まり負傷した。	39	7	30202	1 ～ 9

59	2016	10	8～9	地面の高さの段差がある場所で、重機を高い所から低い所へ移動中、重機がバランスをくずして横転した。その時、運転席より転落し、横転した重機の下敷きになった。	61	1	30201	30 ～ 49
60	2016	10	12～ 13	工場内4. 5ユンボのピン取り替え時にピンとフォークの間に指をはさんだ。	40	7	150102	1 ～ 9
61	2016	10	15～ 16	重機の運転席へ乗り込もうとした際にステップに足をかけたが滑ってしまい、誤って1.5m下の地面に転落した際、背中を強打し負傷した。	65	1	30209	10 ～ 29
62	2016	9	13～ 14	現場内にて解体用つかみ機でつかんでいた角材の一部が約10m程飛び、被災者の眉間に当たった。	59	4	150102	1 ～ 9
63	2016	9	10～ 11	2階建て民家の庭先で、解体されたものを片付けているとき、離れたところで、ユンボで柱の解体作業をしていた際に周辺の朽ちていた物も合わせて下へ落ちた。その際、3寸角の細い朽ちた柱が建物をはじいて作業員の背中に直撃した。	49	4	30109	1 ～ 9
64	2016	9	15～ 16	工事にてシンダーコンクリートをブレーカを用いて撤去する作業中、ブレーカが誤って自分の足の甲に滑り、誤打撃を与えてしまった。	24	6	30309	1 ～ 9
65	2016	9	16～ 17	被災者はコンテナを回収するアームロール車等の誘導員として従事中、重機オペレーターはコンテナ位置をミニバックホウにて、調整しようとした際、コンテナ内の枝が邪魔になり、位置調整出来なかったため、被災者が枝を避けようと枝を左手で持った際、ミニバックホウレバーの誤操作により、掴み装置で左手を挟んでしまった。	65	7	30309	50 ～ 99
			9～	空家の住宅解体現場にて、解体物運搬の積み込み待ちの際、建物の残り具合を見に行ったところ、解体作業のつかみ機は離れ				1

66	2016	9	10	たところで作業をしていたが、木材を持ち上げ、死角になっていたため、旋回したところに居合わせてしまい、木材の先端が顔にあたり、負傷した。	66	6	150109	～ 9
67	2016	9	10～ 11	工場内で分別作業中、バックホーで木製パレットを破碎し、その木片をはさんで左旋回した際、はさんだ木片にぶら下がるようになっていた木片が、当該バックホーの左後方でしゃがんで作業していた被災者のヘルメット左側に接触した。	60	6	150102	～ 29
68	2016	9	11～ 12	住宅解体工事中、重機のハサミにトンバックの吊ひもをかけようとした時、重機の運転手が合図を勘違いし、誤ってハサミを少し閉じてしまい右手首を挟んでしまった。	63	7	30202	～ 9
69	2016	8	14～ 15	山側ヤードに於いて、重機の整備が終了し、片付け作業をして重機より降りている時、両手にポリ缶とネイルジョッキを持っていたので、不注意となり、最下段で足を滑らせ、右足首を捻挫した。	34	1	11009	—
70	2016	8	13～ 14	木造家屋解体現場で重機アタッチメント交換時、アタッチメントを立てておいた為、近くにいた作業員の右足甲に倒れ、右足指を骨折した。	0	5	30209	～ 9
71	2016	7	11～ 12	解体用重機のフォークで住宅を解体する作業において、フォークでつかんで木材を2tトラックの荷台に乗せていた。その時、被災者は2tトラックの荷台に乗って、フォークで運ばれてくる木材を荷台に降ろし均す作業をしていた。フォークの爪部分に左手をかけ右手で材木を降ろし荷台に移し均していたが、右手で木材をフォークから外したとき、開いたフォークの根元部分に左手の小指を挟み、負傷した。	24	7	30202	～ 9
72	2016	7	14～ 15	重機を使って解体をする際、ホコリが立たない様に、十分距離を取り放水をしていた時に、壊した木が飛んで来て、咄嗟に身を右側にひねり、交わそうとしたが、間に合わず、左の脇腹を打撲、その衝撃で倒れ、右手をついた時、親指のつけ根を負傷	34	4	30209	—

				した。				
73	2016	7	13～ 14	解体作業中重機で積荷をしていて、すべて右腕に木くずが当たりケガをした。	71	6	30309	1 ～ 9
74	2016	7	9～ 10	クレーン車で廃棄された金属くずの収集作業をしていた。積込作業中に、掴んでいたボイラーを一旦床に戻そうとしたところ、掴んでいたボイラーの部品が外れ落下。床に置いてあった木製パレットの上に落下し、跳ね返って被災者の右足に接触し右大腿部及び右足首を負傷した。	54	4	80109	30 ～ 49
75	2016	7	16～ 17	リサイクルセンター選別場で、油圧フォークに乗ってフレコンパックを4tトラックから荷卸し中に油圧フォークが横転した際に、キャノピー（屋根）に右臀部が挟まれ受傷した。	24	7	150102	50 ～ 99
76	2016	6	15～ 16	鉄骨造3階建の解体現場にて重機と人力で作業をしている際に誤って重機で壁を倒してしまい、その壁と床に脚をはさんでしまった。	30	5	30209	—
77	2016	6	16～ 17	車両系建設機械の技能講習を受講させるべく、そのために必要な特別教育を機体重量1.5tの解体用つかみ機で行っていたところ、目を離したすきに運転者が重い物をつかんでしまったことで、キャタピラの片方がういてしまい、車体がななめになったことで運転席から投げ出された。	31	2	40301	1 ～ 9
78	2016	5	16～ 17	仮置土止め柵等の資材（単管パイプ）を運搬中に、バランスを崩したバックホウより被災者が投げ出され、転倒したバックホウのアーム部に上半身を挟まれた。	56	1	30301	1 ～ 9
79	2016	4	10～ 11	解体工事現場にて、6階で柱の斫り作業中にノミが滑りブレーカー本体を持っている左手薬指がブレーカー本体とコンクリート躯体との間に挟まれて負傷した。	49	7	30201	1 ～ 9
			11～	土場にある廃材の確認のため、ユンボの運転席より降りようと				1

80	2016	4	12	して身体の向きを変えた際、右膝のさらを運転席の角に当てて受傷した。	27	3	11109	～ 9
81	2016	4	9～ 10	既設建物耐震補強工事に於ける、1階耐震補強部の既設躯体壁そばで、エアブレーカーによる床斫り工事の際、作業を行っていた被災者の想定と違った斫り部コンクリートの崩れ方が生じた事により、身体と共に握っていたエアブレーカーが傾いたため、握っていた斫り器具ハンドル部を既設躯体壁との間に右手小指を挟んだ。	39	3	30201	1 ～ 9
82	2016	4	9～ 10	現場作業の為の準備を、置場でしていた所、重い荷物を移動していた時に雨でぬれていたのもあり、手が滑りそうになった。その時、持ち直そうとして踏ん張った際腰に負担がかかり、痛みを感じた。	41	19	30199	1 ～ 9
83	2016	4	14～ 15	木造2階建ての家屋の解体中、重機で軒下をつかみ、地面に引き降ろす作業をしていたが、想定より大きな塊ではがれた為、重機で支えきれず地面に落下させてしまった。落下した軒先は反動で被災者の方へ倒れ、被災者の後頭部及び背中にぶつかった。	47	4	30202	1 ～ 9
84	2016	3	14～ 15	山林で伐採後の倒木の片付作業中、倒木をワイヤーにて束ね、移動・片付をBH0.21台、BH0.2クロー1台にて行っていた時、BH0.2にて移動させてきた倒木に掛かっていたワイヤーを被災者が外そうとしたが外れず、クローにて倒木を挟み引き抜こうとした際、倒木が跳ねて被災者の足にあたった。	50	6	30199	10 ～ 29
85	2016	3	8～9	家屋解体現場にて、重機にて樹木を伐採中、樹木をダンプに積込む際に重機オペが確認を怠り、樹木をダンプにのせる途中、被災者の腰に樹木が当たり、けがをさせる。	75	6	30209	10 ～ 29
86	2016	3	10～ 11	港で既設車止めをブレーカーで破碎の作業中に、ブレーカーの振動の勢いで手元が狂い自身の右足甲に落下し、負傷した。	23	3	30111	10 ～ 29

87	2016	3	14～ 15	営業所（中間処理場）にて、廃棄物を重機（ミニコンボ）にて破壊していたところ、廃棄物の破片が左目眼球にあたり、左目を裂傷した。	47	4	150102	10 ～ 29
88	2016	3	17～ 18	ハサミ付解体重機でゴミ袋を吊し上げる際に、吊り上げ部分を手で押さえていたところ、重機ハサミで右手を挟み負傷した。	42	7	30209	1 ～ 9
89	2016	2	13～ 14	法面崩壊対策現場で、法面の排水を高密度ポリエチレン管を設置して流末処理を行う作業を行っていた。設置経路途中でコンクリート擁壁があり、これを貫通するのにブレイカーを使用してコンクリート取壊し作業を行った後、耳の間こえが悪くなった。	63	90	30106	10 ～ 29
90	2016	2	11～ 12	同僚3名と電気炉鋳削り作業を4名で順次交代しながら行っていた。羅災者は電気炉内部の外周側に錆付いた鋳を、ブレイカーにて研っていた。鋳が研れた瞬間、ブレイカーの刃先がずれて、ブレイカーが作動した状態のまま、左足の上に乗り羅災した。	37	6	11101	10 ～ 29
91	2016	2	10～ 11	積み込み作業において、重機のハサミで木クズをはさみ、木クズを4tダンプの上に並べる作業をしていた。この際、重機のハサミが、移動した時に、4tダンプの鉄製のあおりに右手がはさまれて負傷した。	64	7	30201	1 ～ 9
92	2016	2	14～ 15	重機で鋳物の解体中、鋳物の破片が飛び、左胸に直撃し、胸の肋骨を骨折した。	52	6	80209	10 ～ 29
93	2016	2	15～ 16	道路の拡幅部分と現道車道部の境で大型標識のコンクリート基礎取壊しで大型ブレイカー刃先と破片の飛散防止を確認している時に飛散防止の養生のためにネットとコンパネを設置していたが、飛散の状況からコンパネで足りると判断し、ネットを外した。その際にコンパネを固定していた番線もはずしそのまま	66	7	30106	10 ～

				にしたため倒れそうになり、とっさに押えようと前に出た際に、取壊し面の凹凸につまずき足がブレーカー部分に滑りこみたたかれた。				29
94	2016	1	11～ 12	解現場内で、小型重機のつかみ機を使用し、フレコン袋の中にある解体材を床に取り出すため、フレコンを上下反転させようと被災者がつかみ機にフレコンの取手を引っ掛けようとした時に、挟まれ負傷した。	29	7	30209	1 ～ 9
95	2016	1	10～ 11	工事現場にて、鋼材（レール）を片付中にレールがはねて、右足首当たりを打撲、捻挫。	71	6	30199	1 ～ 9
96	2016	1	9～ 10	校舎壁解体作業中のバックホウ（コンクリート圧砕器装着）の後方付近で、被災者は同僚作業員と2名で木片等を拾い集める作業を行っていた。バックホウOPが4階スラブ上へ引き倒した外壁を大割した後、バックホウと躯体の間へ掴み下ろそうとした際、コンクリート片の一部がバックホウの後方まで飛散し、木片等を拾い集めていた被災者の右胸部付近に当たった。	54	4	30209	1 ～ 9
97	2016	1	11～ 12	工場と工場の連絡通路作成の為、壁に穴をあけたのち、その下に鉄板を敷くためコンクリート土間基礎立ち上がり部を掘削機で破碎、解体していたところ、掘削機の鉄製先端部を誤って自分の右足甲部分に貫通させてしまった。	45	6	11301	10 ～ 29
98	2016	1	2～3	工場で電鍍煉瓦の解体作業をブレーカーで碎いていた。被災者は、ブレーカーを右足外側で使用していた際、鉄の破片が飛び、左足の安全靴を突き破り、左足内踵横付近を負傷した。	47	4	30309	50 ～ 99
99	2015	12	9～ 10	林道工事にて、鉄板の上に仮置していたブレーカーに近づき一人（作業員）がワイヤロープをつかみ被災者に渡そうとした時、ブレーカーがたおれかかったため、作業員と被災者も危ないと感じ逃げようとした時、被災者は、足元が滑り、約2.3m下	38	1	30199	30 ～ 49

				に落ち、伐採した木で腹を打ち、肋骨と腸開膜を負傷した。				
100	2015	12	11～ 12	2階建木造住宅を解体中、重機の手元作業員をして作業していた際、上から壁材が落下してきて、背中に当たってしまった。	47	4	30209	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。